

## 第6分科会「副校長・教頭の職務内容や職務機能に迫る課題」

(報告者)浜田市教頭会所属

### ○「全国公立学校教頭会の調査」報告

- ・ 全国公立学校教頭会では、副校長・教頭の社会的地位と職能の向上、全国公立学校教頭会の政策提言能力を高めることを目的として、「団体調査」と「個人調査」を実施している。調査結果は、全公教の総務・調査部会で分析・考察を行い、報告書の作成とHP上での公開を通して全国の単位教頭会・副校長会、会員に提供している。また、第6分科会で取り上げ、要請活動のエビデンスとして活用している。

### ○「文教施策の要請」について

1. 教員の処遇改善、施設整備の充実など、教育環境整備のための予算確保
2. 教員不足、教員採用試験の倍率低下の原因となっているとも考えられる働き方改革の一層の推進
3. 副校長・教頭の厳しい勤務実態を改善するための副校長・教頭マネジメント支援員の拡充
4. 次期学習指導要領改訂を見据えた、カリキュラムオーバーロードの解消

以上の4提言を柱として、単位教頭会・副校長会での要請活動の推進に取り組んでいる。

### ○講演

演題：職員室の心理的安全性を高める～全国公立学校教頭会の調査を受けて～

講師：文部科学省学校DX戦略アドバイザー 森 万喜子 氏

内容：学校教育目標の達成及び教職員一人一人の資質・能力の向上に向け、副校長・教頭として、組織及び個人の強みを生かしながら人材育成をどのように行うのか、また、望ましい職員室のあり方、学校教育のあり方について提案がなされた。

### ○グループ協議・意見交流

協議の柱：〔柱1〕各学校や地域における教育実践の現状と課題

〔柱2〕全公教調査・文教施策と講義をもとにした具体的な改善策

- ・ 主に「職場の人間関係」と「働き方改革」が協議の中心となった。「子どもの幸せのためには教職員の幸せが不可欠であり、教職員の働き方改革は〔時短中心〕ではなく〔働きやすさと働きがいの両立〕を目指すことが大切である」との認識を他県の副校長・教頭と共有した。

### ○指導助言

- ・ 心理的安全性を大事にし、子どもに学びを委ね、若手教員には仕事を任せ、仲間で支え合うことが求められている。こうした経験こそが、それぞれの自立（自律）につながり、より良い組織マネジメントにつながっていく。